

活動目標

みんなの助川を
住みよいまちに！

助 川

発行 助川学区コミュニティ推進会
編集 調査広報部
事務局 〒317-0071
日立市鹿島町1-21-7
助川交流センター内
Tel 0294-23-0955

ホームページ：http://www.net1.jway.ne.jp/c-sukega/

助川交流センターを活用しよう！

楽しく
遊んで
ゆったりできる



◎様々なグループが助川交流センターで活動しています（次号で活動グループを紹介予定）

助川交流センター施設文庫

800冊
2階ロビー受付横、日立市立図書館の移動図書館が配備されています

一般書・文庫・郷土・料理・健康・児童書・絵本



助川交流センター利用について

*詳細はホームページ

http://www.net1.jway.ne.jp/c-sukega/

☆利用できる人

原則として日立市民と日立市に在勤・在学してる人

☆開館している時間

原則として午前9時～午後9時まで

☆利用方法

申込方法は、交流センター窓口へ直接申し込みください

☆問い合わせ番号

助川交流センター運営委員会
☎ 0294-23-0955

交流センターはどの部屋も無料で利用できます！

4階
多目的ホール
3階
会議室1・2 和室1・2
料理室
2階
大会議室・児童室



《ふるさとの民俗遺産・文化資源》

〈参考文献〉
日立市民文化遺産
ガイドブック他

『助川下町弁財天社』『助川鹿嶋神社』

＝国道6号線物語第4話＝

助川学区を南北に走る国道6号線は、江戸時代には岩城街道（通称）『浜街道』と呼ばれていました。第4話は6号線道路沿い民俗遺産を紹介します。

（助川町1丁目）

助川下町弁財天社

■埋め立てられた池の守り神

助川下町弁財天社は、平成25年(2013)2月まで市役所本庁舎裏手にありましたが、庁舎建て替えのために約80m南側に移設されました。かつて市役所のあった一帯は江戸時代初めに出来たため池であり、その池のほとりに弁財天社が祀られていました。弁財天社は、江戸時代の終わりころから祀られはじめ、年一度例祭(8月)を開くなど、地域と池の守り神として大切にされていました。昭和14年(1939)に日立市が誕生し、当時の下町池の端に市庁舎が建てられることになりました。

そのためため池が埋め立てられましたが、弁財天社は取り壊されることなく残りました。

市庁舎裏手にあった弁財天社には、樹齢約100年のオオシマザクラがありましたが、腐朽が進んでいたため移設に伴って伐採されました。このオオシマザクラのクローンが3本残されており、新たに整備された弁財天社敷地内にその内の1本が移植されました。

（鹿島町2丁目）

助川鹿嶋神社

■交通渋滞と騒音の6号国道沿い。電線工場入口バス停付近から東方へ、大鳥居をくぐり直進すると目前に彩色も鮮やかな社殿が見えてくる。更に階段をのぼると、壮麗な社殿の朱色が映え、神域にふさわしい神秘さが漂う鹿嶋神社である。

▼御祭神「武甕槌大神」▼神紋「左三つ巴」▼御分霊と創設鹿島神宮は春日大社(奈良県)塩釜神社(宮城県)などと全国に二千社におよんでいる。当鹿嶋神社も大同4年(804)鹿島神宮より御分霊を勧請したと伝えられており、本宮の鹿島神宮は皇紀元年(西暦紀元前660)の創設の年とされている



壮麗な助川鹿嶋神社

が、当神社の創立は不明である。市内には会瀬・成沢・多賀・大久保・南高野・大和田・神田の各町の鹿嶋神社に分霊が勧請されている。

▼御社殿 境内敷地面積1,448坪 本殿158坪 他に幣殿・内拝殿・神饌殿・神楽殿・向殿・拝殿・儀式殿・手水舎。

▼奉納 水戸二代藩主徳川光圀・三代藩主徳川綱條公神旗奉納したと伝えられている。天保7年水戸藩家老山野辺義観が海防城築城の際、当神社を守護神として地鎮祭を執行された。

▼その他 助川佐々羅(県指定無形文化財)。西上町舞屋台(市指定有形文化財)は江戸時代より助川に残る唯一の文化財で神社境内の収蔵庫に大切に保管されています。